

# 「ワイシャツ」クリーニングの種類と作業工程の違い

(作業工程の違いと、お勧めポイント)



## スタンダードワイシャツ (機械仕上げ)

洗う

・軟水洗浄・高温洗いで汚れ落ち抜群！

軟水は通常の水から、塩素・鉄・銅などの不純物を取り除いた水で繊維にダメージを与えずワイシャツの色が冴えます。  
更に高温洗浄で専用洗剤が効果を発揮し、皮脂汚れを落とします



糊付け

てんねんのり

・「天然糊」を使用

「合成糊」と比べると着心地がとても良く、繊維にも優しいです。  
糊の硬さも「強・薄・なし」から選んで頂けます。



仕上げ

・高温プレス機械仕上げ

細部の仕上げが苦手です ★普段着使い、お仕事用のワイシャツ等にお勧めです

## 手仕上げワイシャツ

洗う・糊付け

詳細は上記と同じ

仕上げ

・手作業で仕上げ

細部の仕上げがきれいで、ワイシャツのデザインを生かします

★4L (首回り47cm) 以上のサイズ (機械に入らない為)

★ダブルカフス・オーダー・デザイン性の高いワイシャツ等にお勧めです



## デラックスワイシャツ

洗う・糊付け

詳細は上記と同じ

仕上げ

・職人による手仕上げ

・シミのチェック、染み抜き処理にも時間をかけます

仕上げも汚れ落ちも細部まできれいで、着心地抜群です！！

★ブランド品・高級品・ダブルカフス・オーダーワイシャツ等にお勧めです



## カラーワイシャツ・カジュアルシャツ

洗う

・洗濯表示により、ドライクリーニングと水洗いに分けて洗います  
水洗い品は、軟水で漂白剤を含まない洗剤を使用し洗浄。  
発色を保つように注意しています。

糊付け

・水洗いのシャツのみ糊付けを (詳細は上記と同じ)

仕上げ

・手作業で仕上げ

★柄物、濃い色で発色を長持ちさせたいシャツ、お出かけ用等にお勧めです



★お客様がワイシャツとして着用されていても、スタンダード (機械仕上げ) でお預かりできない場合があります

スタンダード (機械仕上げ) でお預かり出来ないワイシャツ

#ネクタイを締めないで着るようなシャツ

#機械にシャツを着せられない (サイズの入らない、または大きい。ファッション性が高い)

#濃い色の生地やウール素材が使われたシャツ等 (高温でプレスすると光る、または風合いが変わってしまう)